

# 建設局

一般会計要求総額	42,199百万円
(対前年度予算)	1.7%
下水道事業特別会計要求総額	53,971百万円
(対前年度予算)	▲0.7%
単年度資金剰余	▲321百万円

## <要求に当たっての基本的考え方>

「便利で快適なまち」の実現に向けて、交通・物流ネットワークの構築など都市基盤の整備、小倉都心・黒崎副都心などまちの賑わいづくりのための支援、災害対策やバリアフリーなど安全・安心なまちづくりを進めます。

特に、平成21年7月の豪雨災害を受け、緊急に対応に必要な河川・下水道の浸水対策や、自然エネルギーや長寿命機器の導入による「環境配慮型の都市づくり」にも新たに取り組むこととしており、次の5つの方針を主要な柱として取り組んでまいります。

なお、身近な道路の補修や公園整備などの「市民生活密着型公共事業」については、着実に実施してまいります。



— 新若戸道路 —

### ☆交通・物流基盤の機能強化とネットワーク化

◆主要幹線道路の整備	10,033百万円
------------	-----------

### ☆都市の発展を支える拠点地区の整備

◆中心市街地の道路整備の推進	3,700百万円
◆小倉都心の賑わいづくり	30百万円
◆日本風景街道 北九州おもてなしの “ゆっくりかいどう”	12百万円

### ☆安全で安心な災害に強いまちづくり

㊦：新規事業

◆㊦ 水害から市民を守る緊急整備事業	2,286百万円
◆㊦ 市民生活の安全安心を守る緊急災害点検・補修事業	480百万円
◆浸水対策事業の推進	4,274百万円
◆災害時における緊急輸送道路の確保	687百万円
◆下水道の地震対策の推進	1,000百万円
◆バリアフリーのまちづくりの推進	1,806百万円
◆元気を支える公共空間セーフティー事業	184百万円
◆暮らしにやさしい道事業	200百万円
◆地域に役立つ公園づくり事業	360百万円

### ☆「環境モデル都市」を推進する環境配慮型の都市づくり

◆㊦低炭素型の街づくり事業	1,630百万円
◆環境学習の推進	10百万円



— 道路サポーター事業 —

### ☆都市基盤の効率的な活用・整備

◆橋梁の長寿命化への計画的な取り組み	70百万円
◆道路サポーター事業	25百万円
◆公園愛護会・河川愛護団体補助事業	7百万円

- <主な見直し項目>
- ◆道路・公園照明灯の見直し
  - ◆下水処理施設の機器見直し